

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和2年3月31日

事業所名 放課後等デイサービスみやこっ子

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点及び 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	○			療育個別指導において別室を設けるなど工夫して対応しています。
	②	職員配置数は適切であるか	○			児の人数に対し基準の2名の保育士で対応しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			スロープ、手すり、多目的トイレなど配慮しています。
適切な 支援の 提供	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			個別支援の振り返り、情報共有など職員、専門職含めカンファレンスを実施するようにしています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			実施したアンケート調査をもとに業務改善が行えるように努めます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人ホームページにおいて公開しています。
保護者への 説明等	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価の実施について検討します。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修の機会を確保しています。今後も質の向上を図れるよう、研修の機会を確保します。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児の状況、保護者、相談支援専門員など相談しながら計画作成を実施しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			専門職による発達検査などを実施しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動内容に関して、専門職と一緒にプログラムを立てるようにしています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			児の状況により変更するなど固定化しないように工夫しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			療育教室が中心のため、専門職別で課題設定を行い実施しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			療育教室が中心のため、個別の活動として計画を作成しています。
非常時の 対応	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前、終了後と職員間で打ち合わせを行い、役割分担の確認、気付きの共有を行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援開始前、終了後と職員間で打ち合わせを行い、役割分担の確認、気付きの共有を行っています。
満足度	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援の記録をデータ入力し、ファイル保存、データ保存し検証しやすいようにしています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			成長に合わせ必要な課題に対し、適宜、計画を作成するようにします。

19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			今後も支援・活動方針などに十分に検討し基本活動の組み合わせを行っています。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			支援内容等を十分に伝えられる職員が参画できるようにしています。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校や併設の学童保育と連携を図り、必要な情報のやり取りを行っています。
22	医療的ケアが必要な子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			医療的ケアの必要な児はいません。必要時には連絡体制を整えていきます。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			就学前の利用保育所等と連携し情報共有をしています。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	○			現在、障害福祉サービスへ移行する利用者はいません。必要な情報のやり取りを行っています。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			助言や情報交換など連携した支援をしています。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			併設の学童保育との交流など実施しています。
27	(地域自立支援)協議会等への積極的に参加しているか	○			自立支援協議会に通所関係の部会がないため参加できていません。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			共通理解ができるように療育教室の中で専門職より説明等しています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援をおこなっているか	○			家庭での困りごとに対する、対応策などを専門職からの助言、支援などを行っています。
30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明を行っています。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			その都度、相談に対してともに考え、助言、支援を行っています。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			現在、保護者会等はありません。今後検討します。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			マニュアル作成をし対応できるようにしています。現在のところそれに当たる事案がありません。
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			現在、会報誌の発行等はできていません。
35	個人情報に十分注意をしているか	○			個人ファイル等の管理や情報提供について細心の注意をして対応しています。
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			利用児及び保護者が理解しやすいように工夫して説明等を行っています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域開かれた事業運営を図っているか	○			ボランティアを活用して地域の協力を得ながら事業実施をしています。
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアル作成をしているが、周知しています。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			現在、できていません。今後、訓練についても検討していきます。

④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修の機会があります。しかし職員全員が受講できていないので、今後は職員全員が受講できるようにします。
④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	身体拘束などについて、対象となる児がいません。
④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	療育教室中心の為、おやつ等の提供はしていません。
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	事例集を作成するなどできていないので、今後、検討いたします。